

依存症回復支援と セルフヘルプ（相互支援）グループの役割

日時

2023年10月21日（土）
13:30～16:30

定員 30名 受講料 2,000円

講座方式 ハイブリッド（オンライン又は対面）

- ・ オンライン：Zoom
- ・ 対面：本学文京キャンパス

*社会情勢の変化により、オンライン講座のみになる可能性があります。
オンライン講座の場合、受講者は各自におけるインターネット環境及び
ノートパソコン等（マイク・カメラ付）が必要となります。予めご了承ください。

PROGRAM

- 13:30 依存症回復当事者によるセルフヘルプ
（相互支援）グループの活動の意義と実際
- 15:00 壁田 英一 氏（NPO法人 ステラポラリス代表）
- 15:10 依存症回復支援にどのように関わることが
できるか、依存症回復当事者との意見
交換を通じて考える
- 16:30 進行：曾根 直樹

講座のねらい

アルコール、薬物、ギャンブル、買い物などの依存症回復支援にとって、依存症回復当事者によるセルフヘルプ（相互支援）グループの役割は極めて重要です。しかし、依存症回復当事者のセルフヘルプ（相互支援）グループと関わった経験がほとんどない支援者は、医療に結びつけること以外の方策を見いだすことができない現状にあると思います。本講座では、依存症回復当事者からセルフヘルプ（相互支援）グループの活動の実際をお聞きし、その役割について理解を深めるとともに、各地域にセルフヘルプ（相互支援）グループをつくるために、どのようなことが考えられるか検討したいと思います。

この講座を企画・担当する本学教員の略歴

曾根 直樹（本学教授）

専門：障害福祉 資格：社会福祉士

担当科目：障害者支援の理論と方法、共生社会の仕組みとデザイン

成年後見と意思決定支援、障害者の地域生活支援と協議会ほか

公益活動：内閣府障害者政策委員会専門委員、日本障害者虐待防止学会事務局長

埼玉県障害者施策推進協議会委員、府中市障害者計画推進協議会委員

飯能市障害者施策推進協議会会長、滑川町差別解消地域協議会委員



地下鉄丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩5分

駅前より春日通りに出て、後楽園方面へ。
ファミリーマートを左折して、1つ目の信号を右へ。



【申込方法】

- ①本学HP (<http://www.jcsw.ac.jp>) の申込フォームより申込み下さい。
- ②振込案内、申込内容等がメールで自動返信されます。
(メールが届かない場合は、お手数ですが大学院教務課までご連絡ください)
- ③受講料を金融機関よりお振込みください。
- ④Zoomの場合は事前に資料と講座案内がメールされます。
対面の方は直接会場にお越しください。
会場：文京キャンパス(〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-12)
念のため振込を証明できるもの(振込明細書等)をお持ち下さい。

